



祐介の目

大田ゆうすけ
(福山市議会議員)

No.58

毎月1日号に掲載

コースとなり、トライアスロンに出場するような泳力のある人が集まる。しかし、必ず毎時50分から翌00分までの10分間の休憩があり、監視員により全員プールから上がられる。子供でもあるまいし休みたい時に休めば良いと思うが、開館以来20年間続けてきたので何の疑問も感じないのだろう。不測の事態に備えての事もいれないが、そもそもローズアリーナの監視員は水着さえ着用していない。民間のプールではあり得ない事だ。

プールの休憩時間

平成27年度包括外部監査結果報告によれば、福山市の外郭団体である公益財団法人等について監査した結果、違法もしくは著しく不適切であるとして指摘すべき事項はない。しかし、会計処理において退職給与引当金や固定資産の計上など多数の誤りが指摘されていた。そもそも各財団において内部監査を実施し、適正である旨が添付された事業報告書が議会に提出され、我々はそれを承認してきた。数字の間違った報告書を審査していたわけで、何たる事かという思いがする。

さらに、これらの公益財団法人が本当に市民目線で運営されているのか、マンネリ化しているのではと疑問に感じる事が時々ある。ささいな例として、私は公益財団法人・福山市体育振興事業団が運営するローズアリーナによく泳ぎに行くが、夜間は50m泳げる長水路

冬のメモリアルパークのアイススケート場に行けば、自分はこのなにごと下手だったのかと驚く。なぜならレンタル靴がボロすぎて足首を固定できないから、まともに滑れない。入場者数も減るはずである。各財団とも高い人件費を投じて運営されているのだから、今までの常識にとらわれず市民サービスを第一に考えて業務を行ってほしい。

最後に7月1日は市制施行百周年の記念日だ。当日は夜7時1分に乾杯し、皆で百周年を祝おうという企画が市の若手職員の間で持ち上がった。企画そつだ。このような発想・企画は大歓迎である。ぜひ多くの市民で乾杯したい。